

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



凍み大根



12月15日（土）晴れ時々雪 お正月の準備！

本日は平成30年最後の会員活動でした。年末の恒例活動は、餅つき、門松づくり、しめ縄づくりのお正月準備です。今年はどうな年でしたか？来年もよい年になりますように…

ミニ門松づくり！

ミニ門松の材料は、太い孟宗竹、細めの真竹、松、南天、飾りに梅の枝。里山で採取しました。

太い竹を切って、その中に飾りつけをして、世界に一つだけの門松ができました。



杵と臼で餅つき！

杵と臼を使った、昔ながらの餅つきをしました。杵が重くてなかなか難しいのですが、交代してつきあげました。アツアツのお餅を丸める体験もしましたよ。

東北のお雑煮につきものの「セリ」。これは里山の流れて収穫したものです。

キナコは大豆を炒って、石臼で挽いて作りました。香ばしい香りが小野分校いっぱいに広がりましたよ！



しめ飾りづくり！

今年の稲わらを使って縄ないをして、しめ飾りをつくりました。なった縄に、松や南天などを飾って、玄関飾りになりました！



アンコ餅

キナコ餅



お雑煮